

# News

## 広島県農地中間管理機構

### 借受面積は農地面積の6%を超える

農地中間管理事業開始から4年が経過しました。平成29年度は、キャベツ等の産地育成につながる大規模な農地集積と、新規就農者や認定農業者の事業活用の増加等もあって、年間農地集積目標の1,400haに対し、最終的には67%の940haの実績となりました。

【事業実施状況(面積:ha)】

	借受希望		貸付希望		中間管理権取得 (出し手→機構)		転貸 (機構→受け手)		
	経営体	面積	件数	面積	件数	面積	経営体	面積	うち新規
26年度	263	2,076	1,004	519	808	407	74	380	223
27年度	136	898	2,438	1,346	2,422	1,283	157	1,187	473
28年度	105	567	2,345	1,133	1,643	934	160	978	233
29年度	86	466	1,712	821	1,683	869	184	940	234
累計	590	4,006	8,785	3,819	6,556	3,493	361	3,485	1,163

### 農業委員会との連携強化が推進の鍵

集落法人等の大規模な経営体による事業活用は一定程度浸透したものの、個々の担い手の規模拡大の意向や潜在的にある農地の貸付希望の把握はまだ不十分な状況です。

これまで長期にわたり農業を支えてきた農業従事者の規模縮小やリタイア等が増加する中、農地が遊休化する前に情報を把握し、担い手へ集積していく必要があります。

このため、平成30年度においても県・農業会議・機構の三者が農業委員会との連携体制を明確にし、農地の掘り起こしや担い手へのマッチング等の現場活動の円滑化に努めていく計画です。

※ 推進状況や30年度の実施方針など公表データはこちらから

→ <http://hsnz.jp/kikou/ichiran.php>

### 「農地中間管理事業活用事例集」を作成しました

農地中間管理事業の活用による特長的な事例を紹介した事例集を平成30年3月に作成しました。

経営規模の拡大や分散集積の解消、企業の農業参入等、7項目9事例を掲載し、今後の事業推進に活用していきます。



※ ホームページにも掲載しています。

→ <http://hsnz.jp/kikou/shiryo.php>

### 地域駐在コーディネータが活躍

～30年度は14市町と県域を対象に26名に委嘱～

今回、8名の新たなメンバーが加わりました。担当市町・地区ごとの農地の受希望や貸付希望の掘り起こしに加え、県域担当による広域の活動も展開していきます。

また、現場での調整に当たっては、農業委員や農地利用最適化推進委員との連携を密に図り、情報共有して活動していきます。



平成30年度地域駐在コーディネータのみなさん(前列中央は麻田機構長)

担当市町	氏名	担当市町	氏名
三原市	梶畑 孝明	江田島市	山田 豊
	福岡 富雄		加甲 友秋
尾道市	柏原 始	北広島町	沖 俊策
福山市	岩崎 年宏		角甲 正行
府中市	小寺 旭		栗末 茂雄
三次市	堂本 明美		佐久間 博
庄原市	横川 昌明	大崎上島町	辰田 真司
	永奥 啓		角本 博
東広島市	兒玉 康裕	世羅町	岡 正博
	加納 健治	神石高原町	延岡 健二
	正原 賢治		竹上 康夫
廿日市市	中田 安義	県域	向谷 裕次
安芸高田市	本多 一雄	14市町 及び県域	計26名
	吉永 美和子		

### ◆借受希望者の募集を開始しています

平成30年5月1日から通年で募集を行っています。

詳しくは、こちらから

→ <http://hsnz.jp/kikou/koubo.php>

### ◆農地の貸付希望者も随時受付中

随時、農地の貸付希望を募集しています。

詳しくは、こちらから

→ <http://hsnz.jp/kikou/kashitai.php>